

PRINTED MATTER PRODUCTION ESTIMATE DEVICE, PRINTED MATTER PRODUCTION ESTIMATE METHOD AND PRINTED MATTER PRODUCTION ESTIMATE PROGRAM

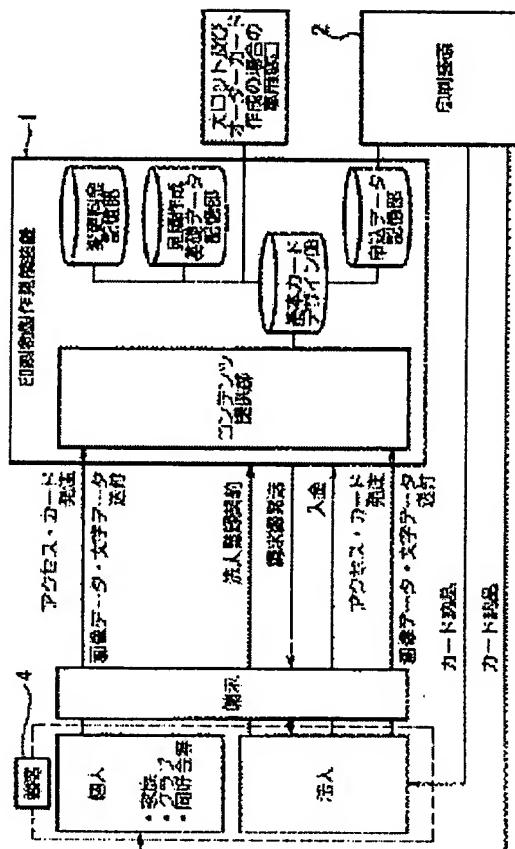
Publication number: JP2004213188
Publication date: 2004-07-29
Inventor: SHIRAI KAZUO
Applicant: TOPPAN PRINTING CO LTD
Classification:
 - International: (IPC1-7): G06F17/60
 - European:
Application number: JP20020379895 20021227
Priority number(s): JP20020379895 20021227

Abstract of JP2004213188

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a printed matter production estimate device capable of easily exhibiting an estimated money amount according to request contents of production of printed matter.

SOLUTION: This printed matter production estimate device has: an acceptance part accepting specifications and an amount of the printed matter from a terminal; a changeable content notification part reading specification changeable contents in the specifications specified from the terminal from a change fee storage part, and transmitting the specification changeable contents to the terminal; a change content acceptance part accepting change contents of the specifications based on the specification changeable contents received from the changeable content notification part, from the terminal; an estimated money amount calculation part reading a basic fee from an estimate formation basic data storage part on the basis of the specifications of the printed matter accepted by the acceptance part, reading change fee data from the change fee storage part on the basis of the change contents accepted by the change content acceptance part, and calculating the estimated money amount on the basis of the read basic fee data, change fee data and amount; and a transmission part transmitting data on the estimated money amount calculated by the estimated money amount calculation part to the terminal.

COPYRIGHT: (C)2004,JPO&NCIPI



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-213188

(P2004-213188A)

(43) 公開日 平成16年7月29日(2004.7.29)

(51) Int.Cl.⁷

G06F 17/60

F 1

G06F 17/60 106
G06F 17/60 318A

テーマコード(参考)

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 12 頁)

(21) 出願番号

特願2002-379895(P2002-379895)

(22) 出願日

平成14年12月27日(2002.12.27)

(71) 出願人 000003193

凸版印刷株式会社

東京都台東区台東1丁目5番1号

(74) 代理人 100064908

弁理士 志賀 正武

(74) 代理人 100108578

弁理士 高橋 貴男

(74) 代理人 100089037

弁理士 渡邊 隆

(74) 代理人 100101465

弁理士 青山 正和

(74) 代理人 100094400

弁理士 鈴木 三義

(74) 代理人 100107836

弁理士 西 和哉

最終頁に続く

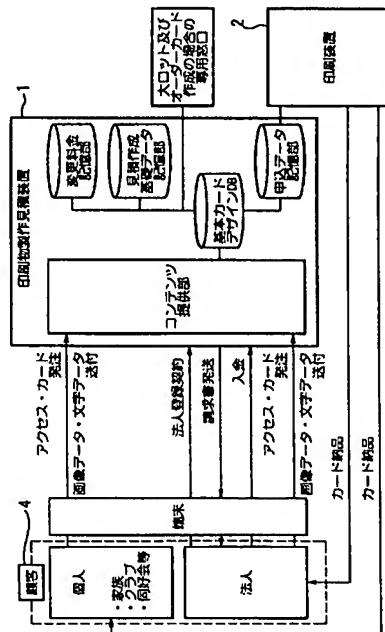
(54) 【発明の名称】 印刷物製作見積装置、印刷物製作見積方法、印刷物製作見積プログラム

(57) 【要約】

【課題】印刷物を作成する依頼内容に応じて簡単に見積金額を提示することができる印刷物製作見積装置を提供する。

【解決手段】印刷物の仕様と数量を端末から受け付ける受付部と、端末から指定される仕様における仕様変更可能内容について変更料金記憶部から読み出して端末に送信する変更可能内容通知部と、変更可能内容通知部から受信した仕様変更可能内容に基づく仕様の変更内容を端末から受け付ける変更内容受付部と、受付部によって受け付けた印刷物の仕様に基づいて、見積作成基礎データ記憶部から基本料金を読み、変更内容受付部によって受け付けた変更内容に基づいて、変更料金記憶部から変更料金データを読み出し、読み出した基本料金データと変更料金データと数量とに基づいて、見積金額を算出する見積金額算出部と、見積金額算出部が算出した見積金額のデータを端末に送信する送信部とを有する。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

端末から印刷物の作成要求を受付する印刷物製作見積装置であって、
前記印刷物の仕様と該仕様に応じた基本料金データと対応付けて記憶する見積作成基礎データ記憶部と、
前記印刷物の仕様の変更可能な部分を示す仕様変更可能内容と該仕様変更可能内容に応じた変更料金データとを対応付けて記憶する変更料金記憶部と、
印刷物の仕様と数量を作成要求として前記端末から受け付ける受付部と、
前記端末から指定される仕様における仕様変更可能内容について前記変更料金記憶部から読み出して前記端末に送信する変更可能内容通知部と、
前記変更可能内容通知部から受信した仕様変更可能内容に基づく仕様の変更内容を前記端末から受け付ける変更内容受付部と、
前記受付部によって受け付けた印刷物の仕様に基づいて、前記見積作成基礎データ記憶部から基本料金を読み出すとともに、前記変更内容受付部によって受け付けた変更内容に基づいて、前記変更料金記憶部から変更料金データを読み出し、読み出した基本料金データと変更料金データと数量とに基づいて、見積金額を算出する見積金額算出部と、
前記見積金額算出部が算出した見積金額のデータを前記端末に送信する送信部と、
を有することを特徴とする印刷物製作見積装置。

10

【請求項 2】

前記端末から指示される仕様に応じた印刷物の作成イメージデータを作成する作成イメージ生成部と、
前記作成イメージ生成部によって生成された作成イメージデータを前記端末に送信するイメージデータ送信部と、
を有することを特徴とする請求項 1 記載の印刷物製作見積装置。

20

【請求項 3】

端末から印刷物の作成要求を受付する印刷物製作見積方法であって、
印刷物の仕様と数量を作成要求として前記端末から受信し、
前記端末から指定される仕様について変更可能な内容を示す仕様変更可能内容を、前記変更可能内容と該仕様変更可能内容に応じた変更料金データとを対応付けて記憶する変更料金記憶部から読み出して前記端末に送信し、
仕様変更可能内容に基づく仕様の変更内容を前記端末から受信し、
前記端末から送信される印刷物の仕様に基づいて、前記印刷物の仕様と該仕様に応じた基本料金データと対応付けて記憶する見積作成基礎データ記憶部から基本料金を読み出すとともに、前記端末から送信される印刷物の仕様の変更内容に基づいて、前記変更料金記憶部から変更料金データを読み出し、読み出した基本料金データと変更料金データと数量とに基づいて、見積金額を算出し、
算出した見積金額のデータを前記端末に送信することを特徴とする印刷物製作見積方法。

30

【請求項 4】

端末から印刷物の作成要求を受付する印刷物製作見積プログラムであって、
印刷物の仕様と数量を作成要求として前記端末から受信するステップと、
前記端末から指定される仕様に対して変更可能な内容を示す仕様変更可能内容を、前記変更可能内容と該仕様変更可能内容に応じた変更料金データとを対応付けて記憶する変更料金記憶部から読み出して前記端末に送信するステップと、
仕様変更可能内容に基づく仕様の変更内容を前記端末から受信するステップと、
前記端末から送信される印刷物の仕様に基づいて、前記印刷物の仕様と該仕様に応じた基本料金データと対応付けて記憶する見積作成基礎データ記憶部から基本料金を読み出すとともに、前記端末から送信される印刷物の仕様の変更内容に基づいて、前記変更料金記憶部から変更料金データを読み出し、読み出した基本料金データと変更料金データと数量とに基づいて、見積金額を算出するステップと、

40

50

算出した見積金額のデータを前記端末に送信するするステップと
をコンピュータに実行させることを特徴とする印刷物製作見積プログラム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

この発明は、印刷物の作成要求に応じて見積金額を算出する印刷物製作見積装置、印刷物製作見積方法、印刷物製作見積プログラムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】

従来から、テレホンカードや名刺、アリペイドカードなどの印刷物は、印刷物作成依頼者からの依頼に応じて、印刷物製作業者によって作成され、印刷物作成依頼者に納品される。このとき、印刷物の作成料金は、印刷物の印刷媒体（プラスチックカード、磁気カード、紙など）や、デザイン、使用する色の種類、使用する画像の大きさ、作成枚数などの仕様によって決められる。従って、印刷物製作業者は、印刷物の仕上がりイメージ図を印刷物作成依頼者に作成してもらい、この仕上がりイメージ図の内容に基づいて、作成料金の見積を行い、印刷物作成依頼者に見積を提示する。

10

これに対し、印刷物作成依頼者は、見積金額を確認し、自身が発注可能な予算金額を考えつつ、自身が望むデザインになるように仕上がりイメージ図に修正を加え、再度見積を依頼する。印刷物製作業者は、修正内容を加味して再度見積を行って印刷物作成依頼者に見積金額を提示する。この見積の提示と修正作業とが繰り返された後、印刷物の発注が行われる。

20

【0003】

また、従来技術において、印刷物のデザインをユーザから個別に受け付けて印刷物を作成するシステムについて提案されている。また、この従来技術においては、印刷物に使用する画像の著作権料についてユーザに知らせることが可能である（例えば、特許文献1参照）。

【0004】

【特許文献1】

特開2000-190669号公報

【0005】

30

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、上述した従来技術においては、ロット数が少ないあるいは、発行枚数が少ない印刷物発注においては、印刷物製作業者にとっては、発注量が少ないので、得られる利益が限られてしまうので、仕上がりイメージ図の修正に応じて見積を何度も作成し直すと、手間と時間がかかってしまい、効率よく利益を得ることが難しかった。

一方、印刷物作成依頼者は、印刷物の作成費用を予算金額の範囲内に抑えつつ、自身の要望を満たすようなデザインの印刷物をなるべく短い期間で作成したいという要望があるが、見積金額を予算金額の範囲に抑える必要があるので、見積金額を提示してもらう必要がある。従って、仕上がりイメージ図の修正を行って度に、何度も見積金額の提示を待つ必要があるので、限られた作成期間において修正できる時間が限られてしまい、これにより、作成期限に間に合うようにするには、満足度が低いが発注をしなければならない場合もあった。

40

【0006】

また、上述した従来技術においては、個別のユーザから印刷物の作成を受付しているものの、見積金額を提示することができないので、印刷物作成依頼者にとって、見積金額が予算金額の範囲内であるか否かを把握できない。また、著作権料について提示されるものの、印刷物の仕様の変更に応じた金額については提示されないので、印刷物作成依頼者にとって、実際に作成される印刷物の見積金額が予算金額の範囲内であるか否かを把握できない。

【0007】

50

本発明は、このような事情に鑑みてなされたもので、その目的は、印刷物を作成する依頼内容に応じて簡単に見積金額を提示することができる印刷物製作見積装置、印刷物製作見積方法、印刷物製作見積プログラムを提供することにある。

【0008】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明は、端末から印刷物の作成要求を受付する印刷物製作見積装置であって、前記印刷物の仕様と該仕様に応じた基本料金データと対応付けて記憶する見積作成基礎データ記憶部と、前記印刷物の仕様の変更可能な部分を示す仕様変更可能内容と該仕様変更可能内容に応じた変更料金データとを対応付けて記憶する変更料金記憶部と、印刷物の仕様と数量を作成要求として前記端末から受け付ける受付部と、前記端末から指定される仕様における仕様変更可能内容について前記変更料金記憶部から読み出して前記端末に送信する変更可能内容通知部と、前記変更可能内容通知部から受信した仕様変更可能内容に基づく仕様の変更内容を前記端末から受け付ける変更内容受付部と、前記受付部によって受け付けた印刷物の仕様に基づいて、前記見積作成基礎データ記憶部から基本料金を読み出すとともに、前記変更内容受付部によって受け付けた変更内容に基づいて、前記変更料金記憶部から変更料金データを読み出し、読み出した基本料金データと変更料金データと数量とに基づいて、見積金額を算出する見積金額算出部と、前記見積金額算出部が算出した見積金額のデータを前記端末に送信する送信部と、を有することを特徴とする。
10

【0009】

また、本発明は、上述の印刷物製作見積装置において、前記端末から指示される仕様に応じた印刷物の作成イメージデータを作成する作成イメージ生成部と、前記作成イメージ生成部によって生成された作成イメージデータを前記端末に送信するイメージデータ送信部と、を有することを特徴とする。
20

【0010】

また、本発明は、端末から印刷物の作成要求を受付する印刷物製作見積方法であって、印刷物の仕様と数量を作成要求として前記端末から受信し、前記端末から指定される仕様について変更可能な内容を示す仕様変更可能内容を、前記変更可能内容と該仕様変更可能内容に応じた変更料金データとを対応付けて記憶する変更料金記憶部から読み出して前記端末に送信し、仕様変更可能内容に基づく仕様の変更内容を前記端末から受信し、前記端末から送信される印刷物の仕様に基づいて、前記印刷物の仕様と該仕様に応じた基本料金データと対応付けて記憶する見積作成基礎データ記憶部から基本料金を読み出すとともに、前記端末から送信される印刷物の仕様の変更内容に基づいて、前記変更料金記憶部から変更料金データを読み出し、読み出した基本料金データと変更料金データと数量とに基づいて、見積金額を算出し、算出した見積金額のデータを前記端末に送信することを特徴とする。
30

【0011】

また、本発明は、端末から印刷物の作成要求を受付する印刷物製作見積プログラムであって、印刷物の仕様と数量を作成要求として前記端末から受信するステップと、前記端末から指定される仕様に対して変更可能な内容を示す仕様変更可能内容を、前記変更可能内容と該仕様変更可能内容に応じた変更料金データとを対応付けて記憶する変更料金記憶部から読み出して前記端末に送信するステップと、仕様変更可能内容に基づく仕様の変更内容を前記端末から受信するステップと、前記端末から送信される印刷物の仕様に基づいて、前記印刷物の仕様と該仕様に応じた基本料金データと対応付けて記憶する見積作成基礎データ記憶部から基本料金を読み出すとともに、前記端末から送信される印刷物の仕様の変更内容に基づいて、前記変更料金記憶部から変更料金データを読み出し、読み出した基本料金データと変更料金データと数量とに基づいて、見積金額を算出するステップと、算出した見積金額のデータを前記端末に送信するステップとをコンピュータに実行させるなどを特徴とする。
40

【0012】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の一実施形態による印刷物製作見積装置を図面を参照して説明する。

図1は、この発明の一実施形態による印刷物製作見積装置1を適用した印刷物製作システムの構成を示す概略図である。

この図において、印刷物製作システムは、印刷物製作見積装置1と、印刷装置2、端末3とによって構成される。印刷物製作見積装置1と端末3は、インターネットなどのネットワークやLAN(ローカルエリアネットワーク)、専用線などのネットワークを介して接続される。印刷物製作見積装置1と印刷装置2は、インターネットなどのネットワークやLAN、専用線などのネットワークを介して接続される。

【0013】

10

印刷物製作見積装置1は、端末3からのアクセスに応じて、顧客4から要求された印刷物の仕様において印刷物を製作する場合に発生する製作料金の見積金額を算出して端末3に提示する。この印刷物製作見積装置1は、例えば、印刷装置2によって印刷物を製作する印刷物作成業者によって運営される。

印刷装置2は、印刷物製作見積装置1からの指示に基づいて、印刷が指示された場合に、印刷媒体に印刷を行い、印刷物の製作をする。

端末3は、印刷物製作見積装置1が提供するホームページの閲覧およびコマンドの入力を行う機能を有し、例えば、コンピュータ、携帯電話、PDA(Personal digital assistance)などがあげられる。この端末は、顧客4によって利用される。この顧客4は、例えば、個人の顧客と法人の顧客が含まれ、個人の顧客としては、例えば、家族、クラブ、同好会などに所属している場合もある。

20

【0014】

ここで、印刷物とは、印刷媒体に印刷が行われるものであり、例えば、テレホンカード、名刺、アリペイドカード、ICカード、クレジットカード、社員証、会員カード、などのカード類や、カレンダー、ポスターなどがある。印刷媒体としては、例えば、紙、プラスチックカード、磁気カード、ICカードなどがあげられる。

【0015】

30

次に、図2を用いて印刷物製作見積装置1についてさらに説明する。図2は、印刷物製作見積装置1の構成について説明するための概略ブロック図である。この図において、コンテンツ提供部10は、端末3からのアクセスに応じて、顧客4から要求された印刷物の仕様において印刷物を製作する場合に発生する製作料金の見積金額を算出して端末3に提示する印刷物製作受託専用サイトを提供するための各種コンテンツを端末3に提供する。また、このコンテンツ提供部10は、受付部110と変更可能内容通知部111と変更内容受付部112とを有する。

【0016】

40

受付部110は、印刷物の仕様と数量を作成要求として端末3から受け付ける。ここでの仕様には、印刷媒体の種類(紙、プラスチックカード、磁気カード、ICカードなど)、印刷媒体に印刷するための文字情報と画像情報が含まれている。文字情報は名称、住所、連絡先などの文字や記号を印刷するための情報が含まれ、画像情報は、ロゴ、挿絵、写真などの画像を印刷するための情報が含まれる。また、文字情報や画像情報には、文字や画像の大きさ、印刷位置、色合いなどを指定するための情報であるレイアウト情報が含まれる。

【0017】

変更可能内容通知部111は、端末3から指定された仕様において変更可能な仕様を示す仕様変更可能内容を変更料金記憶部13から読み出して端末3に送信する。

変更内容受付部112は、変更可能内容通知部111から受信した仕様変更内容に基づく仕様の変更内容を端末3から受け付ける。

【0018】

基本デザインDB11は、印刷物を制作するための基本のデザインとなる基本デザインデータを記憶する。この基本デザインデータは、文字情報や画像情報を印刷するレイアウト

50

のパターンが複数含まれているほか、印刷媒体を特定するための情報が含まれる。また、基本デザインデータは、レイアウトのパターンや使用する各種印刷媒体の組み合わせに応じて、例えば、図3に示すように「パターンA、パターンA1、パターンB、」など、複数のパターンが記憶されている。

【0019】

見積作成基礎データ記憶部12は、印刷物の仕様と該仕様に応じた基本料金データと対応付けて記憶する。ここでいう印刷物の仕様とは、基本デザインDB11に記憶された基本デザインデータの各種パターンのことであり、例えば、図4に示すように「パターンA、パターンA1、パターンB、」に「〇〇円、〇X円、」のように基本料金データを対応付けて記憶する。

10

【0020】

変更料金記憶部13は、印刷物の仕様の変更可能な部分を示す仕様変更可能内容と該仕様変更可能内容に応じた変更料金データとを対応付けて記憶する。ここでいう印刷物の仕様変更可能内容とは、基本デザインデータの各パターンにおいて、変更することが可能な仕様の一部分のことであり、例えば、図5に示すように、パターンAにおいては、「ロゴを写真に変更」、「ロゴをフルカラーで印刷」、「連絡先を削除」の3つの変更内容が仕様変更可能内容として登録されている。また、この仕様変更可能内容には、変更内容に応じた変更料金データが対応付けられて記憶されている。

【0021】

見積金額算出部14は、受付部110によって受け付けた印刷物の仕様と数量とに基づいて、見積作成基礎データ記憶部12から基本料金データを読み出し、読み出した基本料金データと数量に基づいて、印刷物の作成要求に応じた見積金額を算出する。

20

また、見積金額算出部14は、変更内容受付部112によって仕様の変更を受け付けた場合に、受け付けた印刷物の仕様と変更内容とのうち、受付部110によって受け付けた印刷物の仕様に基づいて、見積作成基礎データ記憶部12から基本料金を読み出すとともに、変更内容受付部112によって受け付けた変更内容に基づいて、変更料金記憶部13から変更料金データを読み出し、読み出した基本料金データと変更料金データと数量とに基づいて、見積金額を算出する。

【0022】

送信部15は、見積金額算出部14が算出した見積金額のデータを端末3に送信する。
作成イメージ生成部16は、端末3から指示される仕様に応じた印刷物の作成イメージデータを作成する。この作成イメージデータの作成は、仕様の変更がある場合に、受付部110によって受付した仕様の内容に、変更内容受付部112によって受付した変更内容が反映されて作成される。

30

イメージデータ送信部17は、作成イメージ生成部16によって生成された作成イメージデータを端末3に送信する。

【0023】

申込データ記憶部18は、端末3からの発注指示に基づいて、レイアウトのパターンと印刷する対象となる印刷媒体を指定する情報を対応付けて記憶する。

40

【0024】

決済部19は、発注された印刷物に対する料金の決済処理を行う。ここで、決済を行う方法としては、ホームページ上においてクレジットカードの引き落としを指定することにより決済する方法、コンビニエンスストア店舗やガソリンスタンド等における商品受け渡し時に料金を支払う料金収納、郵便局や運送会社が提供する代金引換による郵送、金融機関を利用した振り込みなどがあり、これらのはずれかの支払い方法を顧客4に選択してもらい、端末3から入力してもらうことにより、支払い方法が決定される。

また、決済部19は、発注が指示された後、支払い方法のうち、引き落とし、料金収納、代金引換のいずれかが選択された場合、あるいは、支払い方法が振り込みであって、振り込みが完了された場合に、申込データ記憶部17から申込データを読み出して印刷装置2に出力し、印刷を行わせる。

50

【0025】

次に、図1の構成における印刷物製作システムの動作について図6のフローチャートを用いて説明する。

まず、各顧客4は、印刷物製作見積装置1のコンテンツ提供部10が提供する印刷物製作受託専用サイトに端末3を利用してアクセスし、住所、氏名、連絡先などのユーザ情報を送信してユーザ登録をする。顧客4が法人である場合は、法人登録についても行われる。ユーザ登録が行われた後、顧客4は、端末3を利用して印刷物製作受託専用サイトが提供する、基本デザインDB11に記憶されたレイアウトのパターンの閲覧機能を利用してレイアウトのパターンを閲覧しつつ、基本デザインデータの中から例えば「パターンA」を選択し、基本デザインデータに入力する文字や画像のデータの入力および、文字や画像の位置や配色の指定を行って仕様を入力し、製作したい数量の入力をし、見積の作成要求を入力する(ステップS11)。
10

【0026】

印刷物製作見積装置1は、端末3から送信される印刷物の仕様と数量、見積依頼を作成要求として受付部110によって受信し(ステップS12)、受信した仕様の基本デザインデータのパターンAに対応する基本料金の金額を、見積金額算出部14によって、見積作成基礎データ記憶部12から読み出し、読み出した基本料金と数量とに基づいて、見積金額を算出する(ステップS13)。次いで、印刷物製作見積装置1は、作成イメージ生成部16によって端末3から送信された仕様に含まれる、文字や画像を指定された位置と配色とを基本デザインデータに反映させ、実際に印刷物が作成された場合におけるイメージデータを生成し、生成されたイメージデータをイメージデータ送信部17によって、端末3に送信するとともに、算出された見積金額のデータを送信部15によって送信する(ステップS14)。さらに、印刷物製作見積装置1は、基本デザインデータのパターンAにおいて変更可能な仕様を示す仕様変更可能内容を、変更可能内容通知部111によって変更料金記憶部13から読み出して端末3に送信する。
20

【0027】

端末3は、イメージデータと見積金額のデータと変更可能内容を受信した後(ステップS15)、イメージデータと見積金額のデータとをCRT(Cathode Ray Tube)や液晶表示装置などの表示装置によって出力する。そして、顧客によってイメージデータと見積金額が確認された後、変更可能内容を確認し、変更したい内容を変更可能内容から例えば、「ロゴを写真に変更」を選択して印刷物製作見積装置1に送信するとともに、ロゴをから写真に差し替えるための写真の画像情報を送信する(ステップS16)。
30

【0028】

印刷物製作見積装置1は、端末3から送信される変更内容「ロゴを写真に変更」と画像情報を変更内容受付部112によって受信し(ステップS17)、受信した変更内容「ロゴを写真に変更」に対応する変更料金データを変更料金記憶部13から読み出して、読み出した変更料金データと、基本デザインデータに対応する見積金額データと数量とに基づいて、見積金額算出部14によって変更内容を反映させた後の見積金額を算出する(ステップS18)。そして、算出された見積金額を送信部15によって端末に送信する(ステップS19)。
40

【0029】

さらに、印刷物製作見積装置1は、作成イメージ生成部16によって、既に作成されたイメージデータに対し、変更内容とともに受信した画像情報を反映させて新たにイメージデータを生成し、イメージデータ送信部17によって端末に送信する(ステップS20)。

【0030】

端末3は、印刷物製作見積装置1から送信される変更内容が反映された後の見積金額のデータおよびイメージデータを受信し(ステップS21)、表示装置に表示する。そして、顧客4がこの見積金額とイメージデータを確認し、見積金額とイメージデータとに納得した後、例えば、決済方法「代金引換」が選択され、印刷物製作受託専用サイトの「発注」ボタンがクリックされると、発注指示が端末3から印刷物製作見積装置1送信される(ス
50

ステップ 822)。

【0031】

印刷物製作見積装置1は、端末3から発注指示と決済方法とをコンテンツ提供部10によって受信すると(ステップ823)、変更内容が反映されたイメージデータを作成イメージ生成部16から申込データ記憶部17に出力して申込データとして記憶する(ステップ824)。そして、印刷物製作見積装置1は、決済方法が「代金引換」であるので、決済部19によって、「代金引換」として決済処理を行い(ステップ825)、申込データを申込データ記憶部17から読み出して印刷装置2に出力し、数量を指定するとともに印刷指示をする(ステップ826)。

【0032】

10

印刷装置2は、申込データと印刷指示とを印刷物製作見積装置1から受信すると(ステップ827)、申込データに基づいて、指示された数量に応じた枚数の「プラスチックカード」に印刷を行って印刷物を製作する(ステップ828)。そして、製作された印刷物は、顧客4に発送され納品される(ステップ829)。そして、印刷料金が代金引換によって印刷物製作業者に支払われる(ステップ830)。

【0033】

なお、以上説明した実施形態によれば、発注を受ける枚数について言及していないが、大ロットの場合(発注枚数が所定枚数以上の場合)は、必要に応じて、他の印刷物製作システム(図1における「大ロット及びオーダーカード作成の場合の専用窓口」を利用)によって作成するようにしてもよい。

20

【0034】

また、上述の実施形態においては、仕様変更について一度だけ端末から受付する場合について説明したが、複数回仕様の変更を受付する場合は、仕様変更可能内容の通知を行うとともに、図6ステップ816から図6ステップ821までを繰り返し行われる。

【0035】

なお、以上説明した実施形態において、基本デザインデータに印刷する文字や画像は、発注前に端末3から印刷物製作見積装置1に送信するようにしたが、発注がなされた後に端末3から送信するようにしてもよい。

【0036】

30

また、上述した実施形態においては、決済方法が「代金引換」である場合について説明したが、決済方法が「振り込み」などの場合においては、決済部19によって、見積金額算出部14において算出された見積金額に応じた請求書のデータが端末3に送信され、入金が確認された後に、申込データが印刷装置2に出力される。これにより、印刷媒体の料金を確実に徴収することが可能となる。

【0037】

40

また、図2におけるコンテンツ提供部10、見積金額算出部14、送信部15、作成イメージ生成部16、イメージデータ送信部17、決済部19、受付部110、変更可能内容通知部111、変更内容受付部112の機能を実現するためのアログラムをコンピュータ読み取り可能な記録媒体に記録して、この記録媒体に記録されたアログラムをコンピュータシステムに読み込ませ、実行することにより印刷物の見積作成処理を行ってもよい。なお、ここでいう「コンピュータシステム」とは、OSや周辺機器等のハードウェアを含むものとする。

【0038】

また、「コンピュータシステム」は、WWWシステムを利用している場合であれば、ホームページ提供環境(あるいは表示環境)も含むものとする。

また、「コンピュータ読み取り可能な記録媒体」とは、フレキシブルディスク、光磁気ディスク、ROM、CD-ROM等の可搬媒体、コンピュータシステムに内蔵されるハードディスク等の記憶装置のことを行う。さらに「コンピュータ読み取り可能な記録媒体」とは、インターネット等のネットワークや電話回線等の通信回線を介してプログラムを送信する場合の通信線のように、短時間の間、動的にプログラムを保持するもの、その場合の

50

サーバやクライアントとなるコンピュータシステム内部の揮発性メモリのように、一定時間プログラムを保持しているものも含むものとする。また上記プログラムは、前述した機能の一部を実現するためのものであっても良く、さらに前述した機能をコンピュータシステムにすでに記録されているプログラムとの組み合わせで実現できるものであっても良い。

【0039】

以上、この発明の実施形態を図面を参照して詳述してきたが、具体的な構成はこの実施形態に限られるものではなく、この発明の要旨を逸脱しない範囲の設計等も含まれる。

【0040】

【発明の効果】

10

以上説明したように、この発明によれば、印刷物の仕様と数量を作成要求として端末から受信し、端末から受信した仕様について変更可能な内容を示す仕様変更可能内容を端末に通知し、仕様変更可能内容に基づく仕様の変更内容を端末から受信した後、端末から送信される印刷物の仕様に基づいて、見積作成基礎データ記憶部から基本料金データを読み出すとともに、端末から送信される印刷物の仕様の変更内容に基づいて、変更料金記憶部から変更料金データを読み出し、読み出した基本料金データと変更料金データと数量とにに基づいて、見積金額を算出し、端末に送信するようにしたので、印刷物製作業者にとって、仕様の変更に伴う見積金額を算出する手間を軽減できるので、発行枚数が少ない印刷物であっても、効率よく利益を得ることが可能となる。また、印刷物作成依頼者にとっては、仕様変更に伴う見積金額の提示にかかる時間を短縮できるので、印刷物のデザインを検討し直す時間を拡大させることができ、これにより、印刷物の完成度に対する満足度を高めることができる。

20

【0041】

また、本発明によれば、端末から指示される仕様に応じた印刷物の作成イメージデータを作成して端末に送信するようにしたので、印刷物作成依頼者は、見積金額を確認するとともに、作成された場合における印刷物のイメージ図を確認した後に、印刷物の発注を行うか否かを決定することが可能となる。

【図面の簡単な説明】

30

【図1】この発明の一実施形態による印刷物製作見積装置1を適用した印刷物製作システムの構成を示す概略図である。

【図2】印刷物製作見積装置1の構成について説明するための概略プロック図である。

【図3】基本デザインDB11に記憶される情報の一例を示す図面である。

【図4】見積作成基礎データ記憶部12に記憶される情報の一例を示す図面である。

【図5】変更料金記憶部13に記憶される情報の一例を示す図面である。

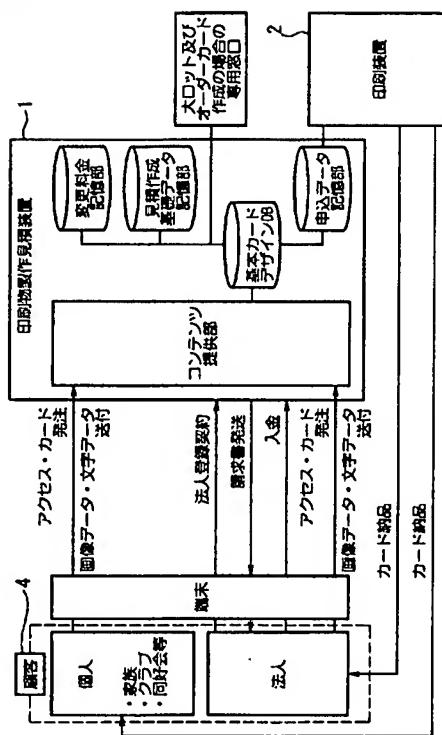
【図6】図1の構成における印刷物製作システムの動作について説明するためのフローチャートである。

【符号の説明】

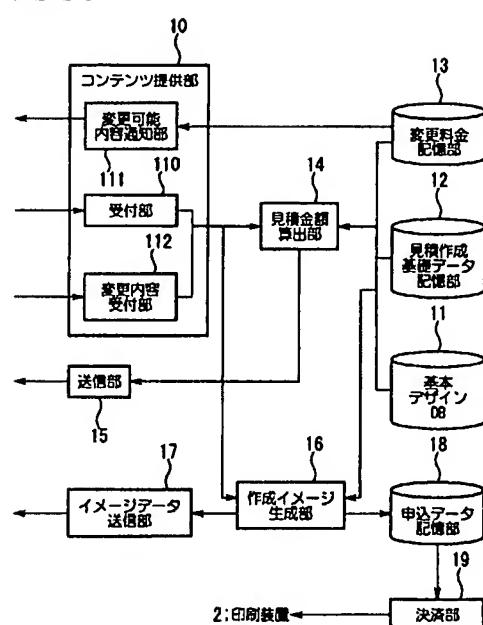
1 印刷物製作見積装置	2 印刷装置
3 端末	10 コンテンツ提供部
11 基本デザインDB	12 見積作成基礎データ記憶部
13 変更料金記憶部	14 見積金額算出部
15 送信部	16 作成イメージ生成部
17 イメージデータ送信部	18 申込データ記憶部
19 決済部	110 受付部
111 変更可能内容通知部	112 変更内容受付部

40

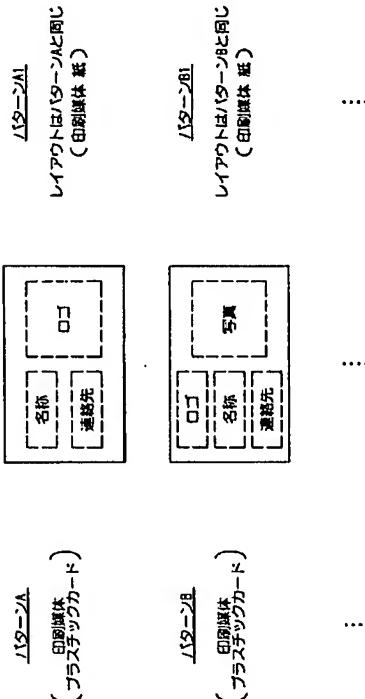
【図1】



【図2】



【図3】



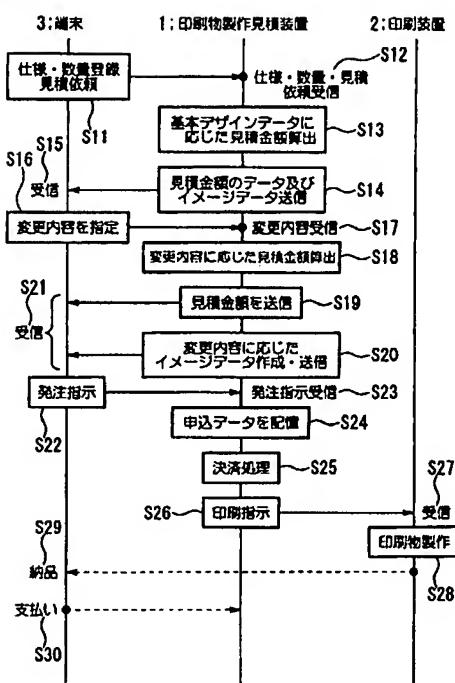
【図4】

パターン名	基本料金（1枚あたり）
A	〇〇円
A1	〇×円
⋮	⋮

【図5】

パターン名	仕様変更可能内容	変更料金（1枚あたり）
A	ロゴを写真に変更 ロゴをフルカラーで印刷 連絡先を削除	×〇円 加算 △×円 加算 △△円 減算
A1	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮

【図6】



フロントページの続き

(74)代理人 100108453
弁理士 村山 鳩彦

(72)発明者 白井 一雄
東京都台東区台東1丁目5番1号 凸版印刷株式会社内